

令和 4 年度厚生労働省委託  
「放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステム導入支援事業」  
のご案内

令和 3 年 4 月に、職業被ばくにおける眼の水晶体に受ける等価線量の限度値が引き下げられました。これに伴い、当センターでは、厚生労働省より「放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステム(以下、「放射線 MS」と略称します。)導入支援事業」を受託し、事務局として事業を実施しているところでございます。

本事業は、放射線業務を行う医療機関を対象に、研修会、事例研究会、個別支援を通じて、放射線業務に従事する医療従事者の被ばく低減のためのマネジメントシステムについて説明し、放射線管理体制の強化を支援するものです。支援の概要は以下のとおりです。

1. 支援期間

令和 4 年 8 月～令和 5 年 2 月

2. 開催方法

ZOOM を使用したオンライン形式

なお、当日、参加できなくても、後日、録画を視聴することが可能です。

3. 申込みについて

(1) 申込み期間

令和 4 年 7 月 4 日(月)～令和 4 年 8 月 5 日(金)

(2) 申込み単位

部署ごと、グループごとなど、1 事業場から複数のお申込みが可能です。

(3) 申込みのための Web サイト

本事業へは、以下の Web サイトからお申込みください。なお、本サイトは、7 月 4 日(月)に開設いたします。

特設 Web サイト <https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

4. コースの種類

新規コースと継続コースの 2 種類の支援コースがございます。詳細は、以下のとおりですが、同時に、両コースに申込みすることも可能です。

(1) 新規コース

はじめて参加する事業場を対象として、講義を中心とした研修会を 3 回開催します。令和 2～3 年度に参加した事業場、すでに継続コースに申込みをされた事業場も申込み可能です。

## (2)継続コース

令和 2～3 年度に参加した事業場を対象として、放射線 MS の導入・運用に関する発表と意見交換を行う事例研究会を 2 回開催します。はじめて参加する事業場、すでに新規コースに申込みをされた事業場も申込み可能です。

## 5. 個別支援

事業場の担当者の方と MS の導入支援員が ZOOM を介して、直接、MS 導入の進捗確認と相談対応をいたします。懸案事項については導入支援員からアドバイスをさせていただきます。なお、ご希望があれば現地開催も可能です。

## 6. 修了証の発行

新規コース及び継続コースについて、所定の条件を満たす個人及び事業場に対して修了証を発行いたします。

## 7. 報告会

報告会を 2 月下旬頃に 1 回開催し、良好な取組み事例の報告をさせていただきます。なお、報告会への参加は自由です。

## 8. 募集数

新規コース及び継続コースは、それぞれ 200 事業場程度、個別支援は 40 事業場程度を予定しています。

申込み多数の場合は、選考をさせていただきます。

## 9. 生涯教育システムへのカウント付与

日本診療放射線技師会の会員の方が参加されると、同技師会の生涯教育システムに基づくカウントの対象となります。

## 10. 【参考】電離則改正に対応する医政局と労働局との連携について

厚生労働省医政局長の通知「令和4年度の医療法第 25 条第1項の規定に基づく立入検査の実施について(医政発 0527 第 11 号 令和4年5月 27 日)」により、電離則の改正による眼の水晶体に受ける等価線量限度値の引き下げ等への対応のため、医政局と労働局が連携をすることとなりました。

厚生労働省医政局長から都道府県知事、保健所設置市長 他に通知された「令和4年度の医療法第 25 条第1項の規定に基づく立入検査の実施について(医政発 0527 第 11 号 令和4年 5月 27 日)」において、診療用放射線の防護に係る医療法施行規則の改正等に関する事項が含まれる旨が記載されています。本件は、以下の通知が参考として示されており、眼の水晶体に受ける等価線量限度の改正に端をなす、電離放射線障害防止規則の改正への対応等について労働局と連携することを示しています。

- ・「眼の水晶体に受ける等価線量限度の改正に係る具体的事項等について  
（令和2年 10 月 27 日医政発 1027 第4号厚生労働省医政局長）」
- ・「放射線障害防止対策に係る都道府県労働局との連携について  
（令和3年1月 28 日医政地発 0128 第4号厚生労働省医政局地域医療計画課長）」

**【お問合せ先】**

公益財団法人原子力安全技術センター 業務部 MS 事業係

TEL :03-3830-0720(MS 事業係直通)

E-mail:ms-info@rad-ms.mhlw.go.jp (7 月 4 日以降)

ms-jimukyoku@nustec.or.jp (7 月 3 日まで)

特設 Web サイト <https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

ツイッター アカウント名 MS 導入支援事務局

@rad\_ms2022

